

題材「 周りの人を幸せにする力を読む ミリーのすてきなぼうし 」9時間中の第3時

(1) 学習のねらい

0円のぼうしが特別なのはなぜかと疑問に思った子どもたちが、スーパーウルトラヘラクレスプラチナメタリックカブトと書かれた想像の巻物に出会い、想像することの凄みに気づき、同じ物を想像したとしてもみんな違う物になるという体験を通して、特別なぼうしが想像することで形を変えることができるから特別であるということがわかるようになっていく。

(2) 本時の学習材

想像の巻物(スーパーウルトラヘラクレスプラチナメタリックカブト)

- 前時までに本文の内容を把握した子どもたちは、特別なぼうしに興味を強めるだろう。特別なぼうしはなぜ特別なのか、学習問題を問いかけたなかで、想像という言葉がでてきたら学習材を提示する。
- 本教材はスーパーウルトラヘラクレスプラチナメタリックカブトと書かれた巻物である。現実には存在しないこのカブトを想像し考えることで特別なぼうしが想像することで形を変えることができるから特別であるということがわかるようになっていく。

学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握 展 開	1 ①p76～79 間で音読し、前時の内容を振りかえる。	・九万九千九百九十九円のぼうしはぴかぴかの羽が付いていたと思うな。 ・なんでミリーは0円のぼうしを買おうと思ったのかな？	10'	○ 学習問題を問いかけたなかで、想像という言葉がでてきたら学習材を提示する。
	2 ①学習問題をもと意見を出し合ってみる。	学習問題 どうして九万九千九百九十九円のぼうしよりも、0円のぼうしの方が特別なんだろう？	10'	学習材 想像の巻物
	②想像を膨らませカブトのイメージをかく。	・ふつう0円のぼうしってないじゃん。 ○ 高いやつはいつも一緒の形でしょ。でもこのぼうしは想像したら形を変えられるんだよ！ ○ 誰も持っていない私だけの帽子の形を作ることができるから。	20'	・ 形イメージがわいてこない児童に対してはまず、どんな色を使っていると思うのかなどの声かけを行う。 ・ 机間指導などを通して何人かの児童のイメージを拡大鏡を使用し、全体で共有できるようにする。
終 末	学習課題 カブトを想像して描いてみよう。			評 価
	3. 本時を振り返り、次時への見通しを持つ。	・ みんな同じお題なのに違う絵を描いていておもしろいね。 ○ 想像することっておもしろいし、すてきだね。	5'	想像することで自分だけの特別をつくり出すことができるということをイメージ図やつぶやき、ノートに振り返りをかいてもらうことなどで確認する。

(3) 反省